

GIGA スクール構想の実現に向けて リーフレット

令和 5 年版

～ 中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」及び
学校での学習用タブレットの貸与について ～

京田辺市教育委員会
学校教育課
京田辺市立三山木小学校

GIGA スクール構想

児童生徒一人一台学習用タブレット端末を配備し、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、全ての子どもたちに対して、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現するため、全国で展開されている取組です。

これまでの教育実践と最先端の ICT のベストミックスさせることで、児童生徒の力も教員の力も最大限に引き出せるようにし、デジタルならではの学びの充実や日常的に ICT を活用できる体制を整備しています。

GIGA スクール構想の実現

Society 5.0 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる中、教育の ICT 化に向けて一人一台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する GIGA スクール構想が 2018～2022 年度の 5 か年計画で進められていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校の臨時休業が長期化し、今後、災害時や感染症の発生などによる学校の臨時休業等の緊急時においても、子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するために、事業の加速化が急務となりました。

京田辺市では、一人一台端末の実現により、「Society5.0 時代に世界へ羽ばたく京田辺っ子の育成」を図ることを理念とし、令和 2 年度に学校の ICT 環境整備を終え、京田辺市立小中学校児童生徒一人一人へタブレット端末を貸与し、学習を進めています。

導入タブレット端末について

※ 一人一人 Microsoftoffice365 アカウントを配布

- ① タブレット端末本体 (iPad)
- ② キーボード一体型ケース
- ③ ブルーライトカット液晶保護フィルム
- ④ コンテンツフィルタリングシステム
- ⑤ Microsoft 365 for Education(A1)
- ⑥ Apple 製アプリケーション及び Google 製アプリケーション、その他
- ⑦ 学習支援アプリケーション (ロイロノート・スクール)

タブレット端末の利用

京田辺市では、小学校入学から中学校卒業までタブレット端末を貸与し、利用します。

同一学校内では、同一端末を持ち上がりで使用することとなります。(京田辺市立同一校小学校 6 年間で同一端末を使用、京田辺市立中学校 3 年間で同一端末使用)

学校で活用される学習者用タブレット端末

京田辺市では市立学校小中学校児童生徒一人一人へ iPad (キーボード一体型ケース、ブルーライトカット液晶保護フィルム) を貸与し、学校教育活動 (授業) など様々な場面で活用しています。

これまでの教育
実践の蓄積



ICT



- ・学習活動の一層の充実
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

校内 LAN の整備

各教室（特別教室や体育館含む）で、児童生徒がタブレット端末を無線アクセスポイントでインターネットと接続して活用できるように、高速大容量の通信設備を整備しました。

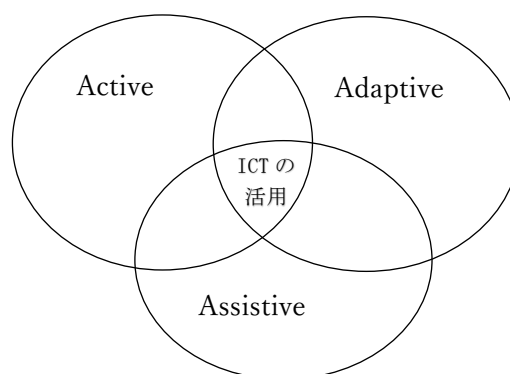
電源キャビネット（鍵付き充電保管庫）

各教室に、児童生徒のタブレット端末を充電し保管できるキャビネットを設置しました。児童生徒は、下校時にタブレットを保管庫へ入れ充電します。

一人一台環境での学習の必要となるポイント

- ① 学びを活性化する「Active」
ICTにより主体的・協働的で深い学びが実現され、学びを活性化する。
- ② 学びを最適化する「Adaptive」
ICTにより習熟度が分析・可視化され、学びが個々に最適化する。
- ③ 学びを支援する「Assistive」
ICTにより地理的制約や心身の障害等、困難を抱える子どもたちの学びを支援する。

教育 ICT「トリプル A」の意義



導入後の授業イメージ

無線 LAN (Wi-Fi)

電源キャビネット（保管庫）



大型ディスプレイ

学習者用タブレット端末

個別学習

児童生徒一人一人が、同時に別々の内容を学習でき、一人一人の学習履歴を記録できることで、一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能となる。

協同学習

一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有でき、子ども同士で双方向の意見交換が可能になることで、各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れることができるようになる。

一斉学習

教師は授業中でも一人一人の反応を把握できることで、子どもたち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能になる。

(裏面へ)

主な活用の方針等

- ・学校教育活動だけで使用します。
- ・アカウントは児童生徒個人で管理します。
- ・学習活動にかかわることだけに使います。
- ・校内では、各教室の鍵付き充電保管庫にケースごと収納します。
- ・児童生徒個人において、USB 利用の禁止、本市導入アプリケーション以外のダウンロードやインストールはできません。
- ・有害なサイトや動画・SNS サイトなどは閲覧できません。
- ・各学校において情報モラル教育を進めます。

タブレット利用環境の安心・安全への考慮

学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていくために、タブレットを上手に活用していくことが大切です。学習に役立てるための道具ですが、使い方によっては心配されることもたくさんあります。ご家庭におかれましては、各学校から配布される『タブレット活用のルール』をお読みいただき、お子さまが学校で、安心・安全・快適にタブレット端末が使用できるよう、ご協力をお願いいたします。

故障・保守について

使用者の責任に帰さない損傷は、1年間同一端末2回まで無償で保守いたします。しかし、故意又は重大な過失により、紛失又は損傷した場合、学校・教育委員会が協議を行い、使用者又は行為者の保護者の責任において原状復旧をお願いする場合があります。

故意又は重大な過失の例

- ・意図的にタブレット端末を投げて破損した。
- ・故意にタブレット端末を水に入れて故障させた。
- ・タブレット端末をラケット代わり等の道具として遊び、破損した。

使用者の責任に帰さない場合

- ・自然故障やバッテリー容量の低下による不具合。災害時被災による損傷。盗難による紛失や突発的
事故による故障

アカウントの配布について

児童生徒一人一人に、Microsoft アカウントを配布します。

学校において、タブレット端末を用いてクラウドサービスによるアプリの利用（ロイロノート・スクールなど）でも、Microsoft アカウントを使用していきます。iPad 使用時のパスコードについては、児童生徒一人一人が管理して、児童生徒のみが使用していきます。

※京田辺市個人情報保護条例に則って、アカウントを利用します。学校ではアカウントとパスワードの管理の重要性について指導していますが、ご家庭においても、児童生徒のアカウントの漏えい、パスワードの管理についてはご注意ください。

参考

文部科学省 HP「GIGA スクール構想の実現について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm

京都府教育庁指導部学校教育課 ICT 教育推進室 HP

http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?page_id=381